（企画書　様式）

 番 号

 平成 年 月 日

 厚生労働省医政局総務課

医療国際展開推進室長 殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人等名称

 　　　　　 　　　申請者 印

平成２６年度 外国人医師等研修受入推進事業

実施団体への公募について

 標記について、次のとおり関係書類を添えて応募します。

（別添１）

外国人医師等研修受入推進事業　計画書

団体名

1．申請者

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）①氏名（団体の長） |  |
| ②事務局所在地 |  |
| ③事務局担当者　氏名　連絡先　　電話番号　　FAX番号　　Mailアドレス　 |  |

２．外国人医療従事者研修受入体制及び実施計画について

|  |
| --- |
| （１）本事業を実施する組織体制について（500字程度） |
|  |
| （２）過去の研修実績（500字程度） |
|  |
| （３）貴団体と相手国・相手医療機関との関係（本研修事業を実施する背景及び今後の協力関係の展望）（500字程度） |
|  |
| （４）平成26年度における実施内容及び実施スケジュールについて（1,500字程度）　・研修において医療機器等を使用する場合は、使用する医療機器等を記載すること |
|  |
| （５）事業実施により期待される効果について（1,000字程度）　　・相手国の医療の質の向上、日本の医療の国際展開にどのように資するのかについて記載すること |
|  |

（別添２）

外国人医師等研修受入推進事業　予定費用

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 支出予定額 | 備考（摘要） |
| 員数 | 単価（円） | 金額（円） |  |
| 人件費 |  |  |  |  |
| 報償費（謝金） |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |  |  |

別紙

厚生労働省の医療の国際展開の取組

平成26年４月１日現在

ＡＳＥＡＮ

（１）カンボジア

　・平成25年11月、覚書に署名

　・公的医療保健制度に係る経験の共有、医療サービスの強化に係る協力、先進的な医薬品・医療機器の導入といった分野において相互に協力を行うことを確認

（２）ラオス

　・平成25年11月、覚書に署名

・①医師・看護師・保健師等の人材開発、②日本の公的医療保険制度に係る経験の共有、③医療サービスのケアの質の向上のための専門知識の交換、④病院・保健所管理のノウハウの移転、⑤遠隔医療や電子カルテといった日本の経験や技術の紹介といった分野において、相互に協力を行うことを確認

（３）ミャンマー

　・平成25年12月、覚書に署名

　・①ミャンマー保健省の行政官を日本に受け入れ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成を目指し、日本の公的医療保険制度についての経験を共有、②医師・看護師・助産師・公衆衛生専門職等の人材開発、③医療サービスにおけるケアの質向上のための専門知識の交換、④病院・保健所の日本式管理のノウハウの移転といった分野において、相互に協力を行うことを確認

（４）ベトナム

・平成26年３月、覚書に署名

・①社会保障制度：日本の公的医療保険システムの経験の共有を通じたユニバーサル・ヘルス・カバレッジの実現、②高齢化社会への対応：政策対話と技術支援による知見と経験の共有、③新興感染症及び再興感染症の予防及び管理と、災害への対策及び応答、④人材開発：医師・看護師・助産師・公衆衛生専門職及びE-ヘルス、⑤先進技術：先進的な医療技術・医薬品・医療機器の導入（生活習慣病対応の技術・製品を含む）、⑥規制：上記⑤を実現するため、日本の医薬品・医療機器のメーカーがベトナム市場にアクセスする際にかかる規制について、ベトナムが当事者である国際的合意の下でベトナムの責任の範囲内で、改善措置を採ることをベトナム政府に推薦する、⑦Ｅ－ヘルス：Ｅ－ヘルス、特にＥ－ヘルス基準の開発、公的医療保険、病院情報システム（HIS）、健康管理情報システム（HMIS）及びデータセンターについての日本の経験や技術の紹介、⑧政策対話: 国際保健外交についての情報や経験の交換、⑨相互に関心のある分野について両国の病院、施設および大学の間の協力促進といった分野において、相互に協力を行うことを確認。

（５）マレーシア

・保健・医療分野での協力に関する覚書の署名に向けて交渉中

（６）タイ

・保健・医療分野についての協力関係強化について合意

中東・アフリカ

（７）バーレーン

・平成25年８月、覚書に署名

　・保健、医療、臨床研究、公的医療保険、医薬品・医療機器などの分野において、人材交流等の協力に合意。

（８）カタール

（９）ＵＡＥ

　・保健・医療分野での協力に関する覚書の交渉中

（10）トルコ

　・平成26年1月、覚書に署名

　・①医療・保健システム、保健情報及び情報システムの強化、②老人介護制度及び在宅医療サービスの強化、③医療・保健サービス分野に従事する人材への教育、 ④病院の耐震設計技術、⑤医療・保健分野における官民連携モデル（ＰＰＰ） 、⑥医薬品及び医療機器の規制に関する経験及び情報の交換、⑦救急医療サービス及び災害時の医療・保健サービスのマネジメント、⑧共同プロジェクト作業の立ち上げ、⑨関連医療機関同士の協力の提供 といった分野において、相互に協力を行うことを確認

南米

（11）ブラジル

　・医療・保健分野での協力覚書について、調整を行うことで合意。

ロシア

（12）ロシア

　・保健・医療分野での協力に関する覚書の交渉中

アジア（ＡＳＥＡＮ以外）

（13）トルクメニスタン

　・平成25年９月覚書に署名。

・①内視鏡操作技術の向上 ②放射線治療及び効果的な照射方法

（14）インド

　・保健・医療分野での協力に関する覚書の交渉中

なお、平成26年４月現在において、当該国からの医療従事者等の受入スケジュールが確定しているものではないことを申し添えます。